

HPV DNA テスト

子宮頸がんから
すべての女性を守りたい



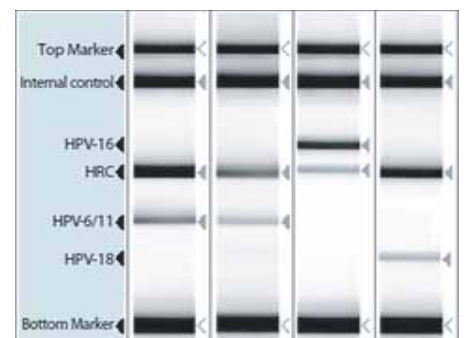
HPV DNAテスト *

* IVD approval in European union

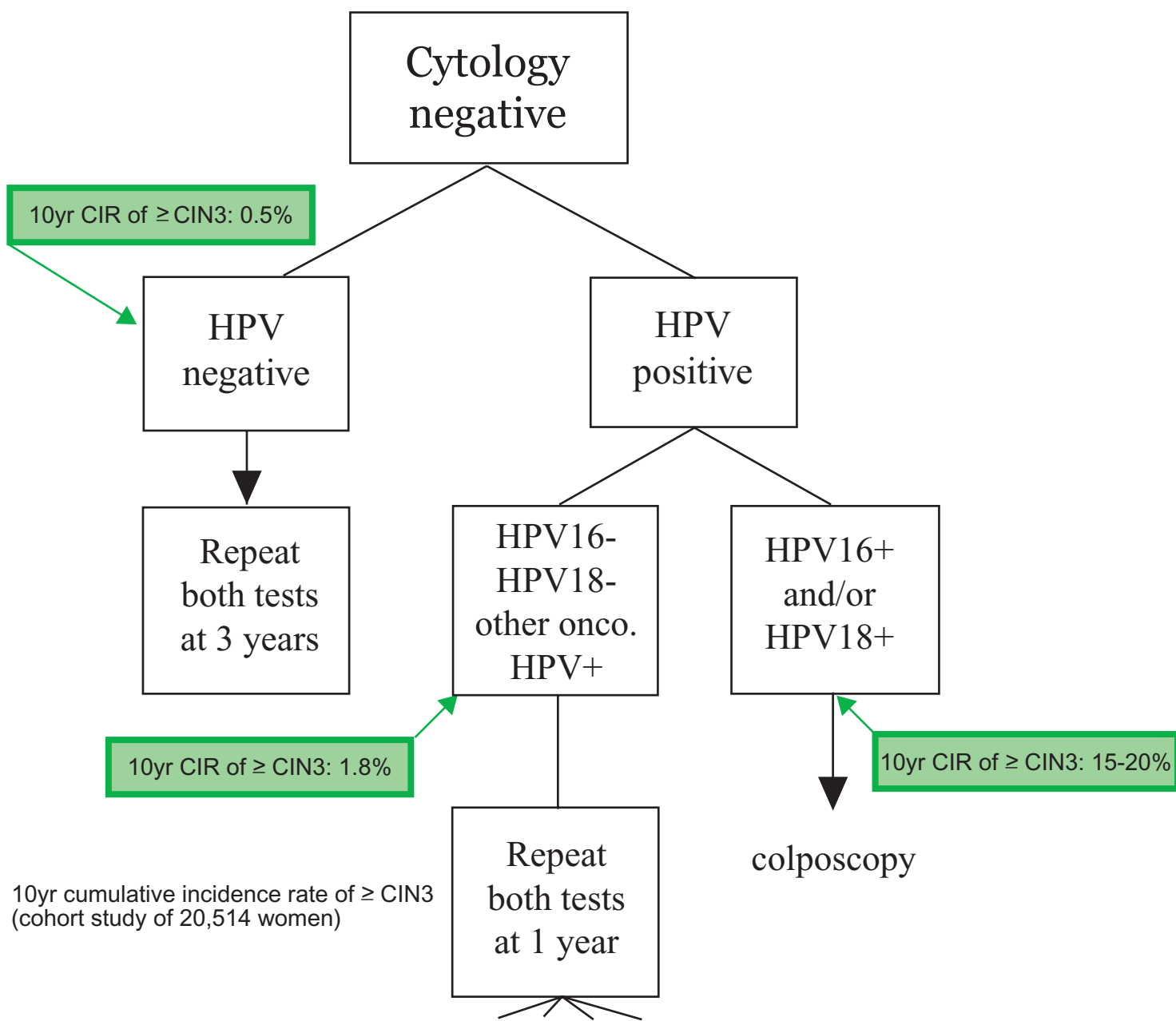
HPV-16
HPV-18] Genotyping

High-risk HPV common ¹⁾
HPV-6/11] Screening

1) HRC (以下のtypesを含む): 26,31,33,35,39,45,51,52,53,56,58,59,66,68,73,82



Signification of HPV16, 18 and High-risk HPV common



Copyright .15 December 2009. permission than Oxford University Press.
All Rights Reserved.
無断転載を禁止します。

検査受託機関

株式会社 四国中検

・香川検査所 Tel:087-877-0111 ・徳島検査所 Tel:088-665-3125
・高知検査所 Tel:088-883-5535 ・松山検査所 Tel:089-955-7600

検査実施機関

株式会社日本遺伝子研究所

〒983-0012 宮城県仙台市宮城野区出花2-11-3 Tel:022-388-7385(検査事業部直通) Fax:022-388-7022
E-mail:application@ngri.co.jp URL http://www.ngri.co.jp

HPV DNA テスト

ヒトパピローマウイルスはありふれたウイルスです。
感染は決して特別なことではありません。



1) HPV ジェノタイプが可能

- HPV ワクチン接種前後の検査の必要性
- HPV 16,18のジェノタイプピングができる
- HPV-ハイリスク型のスクリーニングができる

2) Reflex HPV DNA テストが可能

- 細胞診検体でHPV-DNA検査ができる
- 咽頭検体からのHPV-DNA検査ができる
- 男性尿からのHPV-DNA検査ができる

3) HPV Viral loadが可能

- 最小検出感度は480コピー/ml
- HPV carrierの追跡観察
- 治療後追跡観察

御利用いただける受託サービス

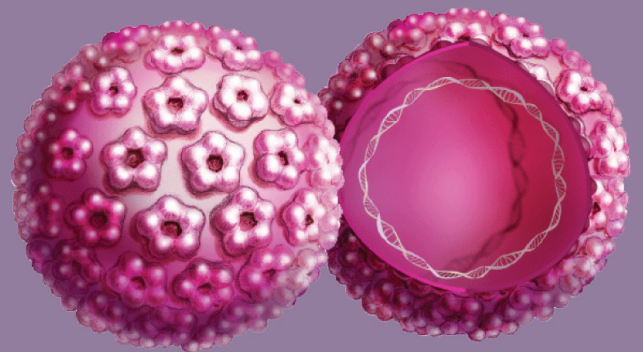
HPVジェノタイプ検査

一度のPCR反応で同時に検査します。

内容 High-Risk Group 16種の検出
(26,31,33,35,39,45,51,52,53,56,58,59,66,68,73,82)
16型 単独検出
18型 単独検出
Low-risk Group (6,11)の検出

HPV定量検査(16型・18型)

HPVが持つ発ガンに関与する遺伝子の発現量を検査します。HPV16型ではE6.E7遺伝子の発現を定量し、HPV18型ではE7遺伝子の発現を定量します。



ヒトパピローマウイルス (HPV) は大きさが50~55nmのDNAウイルスでエンベロープ (外被) を持たず、正二十面体の capsid で覆われています。

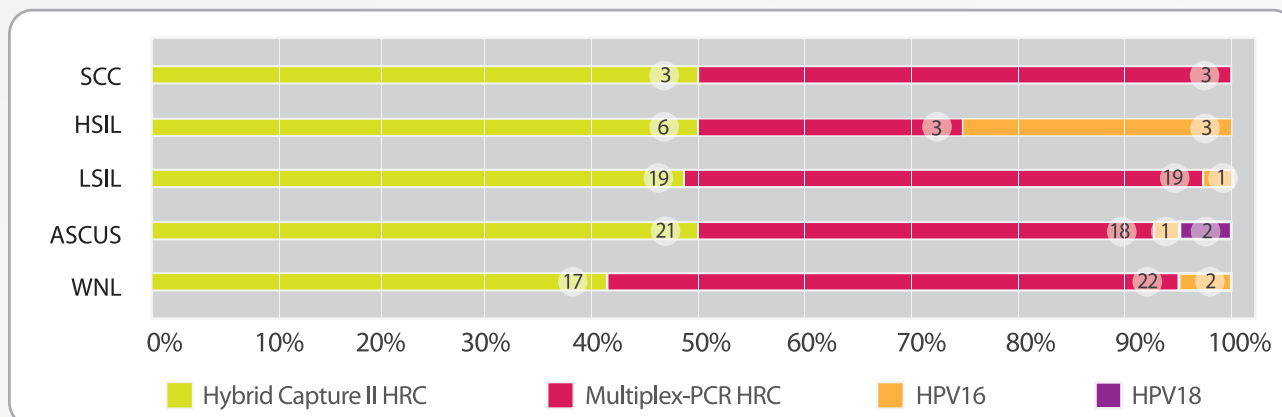
HPVはどこにも存在する一般的なウイルスでヒトの皮膚や粘膜に感染します。主に粘膜に感染するタイプのうち15種類ほどが子宮頸がんなどの発ガンに関係すると言われてます。この発ガン性のHPVのうち、HPV16型と18型が最も多く検出されます。

Table1. Comparison between Multiplex-PCR and Hybrid Capture II for the Presence of High-risk HPV DNA

Test	Cytology				
	WNL (n=84)	ASCUS (n=43)	LSIL (n=22)	HSIL (n=6)	SCC (n=3)
Multiplex-PCR					
Positive	24 (28.6)	21 (48.8)	20 (90.9)	6 (100)	3 (100)
(HPV16)	2	1	1	3	3
(HPV18)	0	2	0	0	0
Negative	60 (71.4)	22 (51.2)	2 (9.1)	0 (0)	0 (0)
Hybrid Capture II					
Positive	17 (20.2)	21 (48.8)	19 (86.4)	6 (100)	3 (100)
Negative	67 (79.8)	22 (51.2)	3 (13.6)	0 (0)	0 (0)

WNL : Within normal limit, ASCUS : Atypical squamous cells of undetermined significance, LSIL : Low-grade squamous intraepithelial lesion, HSIL : High-grade squamous intraepithelial lesion, SCC : Squamous cell carcinoma

Figure1. Comparison between Multiplex-PCR and Hybrid Capture II for the Presence of High-risk HPV DNA



Jin Hwa Hong, et al : J Korean Med Sci 2009; 24: 579-84

注意)

採取器具と細胞保存液および保存について

1.細胞診と併用の場合やHPV検査のみの場合は以下を推奨します。

・日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 細胞保存液 BDシュアパス®、採取器具サーベックスブラシかエンドサーベックスブラシ。

2.咽頭材料の場合は以下を推奨します。

・日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 BDユニバーサル バイラルトランスポート スタンダードセット (220221)

3.男性の尿検体の場合は以下を推奨します。15ml採取し漏れないようにしっかりと締めてください。

・栄研化学株式会社 滅菌スクリュースピッツ (FI2100かFT2100)

4.指定容器に採取した検体の保存は必ず冷蔵にてお願いします。